

水俣病公式確認70年

この文明の病ともいえる公害や汚染は地球の気候変動も含め進行し続けている。

# 「李太郎の夢幻語り」

石牟礼道子作

# 「苦海浄土」

—天の魚—

作・語り 笠井 賢一

一人芝居 八田部 鉄

水俣病は終わってないし、苦しみも癒されてない。  
そう言い続けて石牟礼道子は亡くなった。  
私たちはその想いを引き継いでいく。

わしも長か命じゃござっせん。  
いんね、でくればあねさん、  
罰かぶった話じゃあるが、  
じじばより先に、空の方に、  
はようお迎えの来てくれらしたほうが、  
ありがたかことでございます。  
この子ば葬ってから、ひとつの穴に、  
わしどもが後から入って、  
抱いてやろうござるどばい。  
そげんじゃろうがな、あねさん。

2026年5月17日(日) 15時 鋳仙会能楽研修所

夢が本当でなからんばなにが本当か

## 第一部 「李太郎の夢幻語り」——胎児性患者の歲月(25分) 作・語り 笠井賢一

李よい、人いちばい魂の深かお前が何でひとくちもわが胸の内を爺やんに語ることがでけんかい

石牟礼道子作

第二部

## 「苦海浄土——天の魚」(55分) 一人芝居 八田部鉄

音楽 設楽瞬山、佐藤岳晶 演出 笠井賢一

「繫がぬ沖の捨小舟 生死の苦海果もなし」

これは石牟礼道子作『苦海浄土』の冒頭にエピグラムとして記されている。私が2002年に演出した石牟礼道子作の畢生の新作能『不知火』に次第謡として入れた。そのことで石牟礼文学の出發である『苦海浄土』からの歩みと能『不知火』とが繫がると思ったからである。

今なお、地球規模で汚染と異常気象は加速し戦争は常態化している。その原点である『苦海浄土——天の魚』を一人芝居として再演し、加えて『李太郎の夢幻語り——胎児性患者の歲月』を新たに上演する。苦海と浄土は今も分かちがたく続いている。

「この三部作は我が民族が受けた稀有の受難史を少しばかり綴った書と受け止められるかもしれない。間違ではないが、私が描きたかったのは、海民の生き方の純度と馥郁たる魂の香りである。」

「あねさん、魚は天のくれらすもんでござす。天のくれらすもんを、ただで、わが要るとおもうしことって、その日を暮らす。これより上の栄華のどこにゆけばあろうかい。」(苦海浄土より)

2027年3月11日(木) 〈石牟礼道子生誕100年〉

宝生能楽堂

石牟礼道子作

新作狂言『なごりが原』

新作能『不知火』

野村裕基

梅若紀彰

2027年3月27日(土) 13時

京都コンサートホール

多田富雄作 新能『二石仙人』

片山九郎右衛門



石牟礼道子 1927年熊本県大草郡生まれ。詩人・作家。1969年に公刊された『苦海浄土——わが水俣病』は文明の病としての水俣病を描いた歴史的な作品。1973年マグサイサイ賞、1993年「十六夜橋」で紫式部文学賞、2011年朝日賞、2002年「はにかみの国——石牟礼道子全詩集」で芸術選奨文部科学大臣賞。新作能『不知火』が東京・熊本・水俣で上演された。藤原書店刊行石牟礼道子全集『不知火』が完結。その後も次々と著書の刊行されるが、2018年2月10日逝去。これからの世界のレベルで重要な作家として読み継がれる存在である。

八田部鉄 2012年より、劇作家、演出家の笠井賢一氏の主宰する能塾、及び花習塾に所属。氏、および塾生たちと共に、古典と現代をつなぐ演劇活動を続ける。氏の演出する『平家物語』、『古事記』、『賢治曼荼羅』に出演。今回は、自らも構成し、一人芝居として再演する。舞台朗読の会「音夢(ねむ)」の会員。

設楽瞬山 都山流尺八奏者。演劇や語りの音楽として、演劇的な内容に深く添った表現を実現する。若村麻由美・二人芝居『小宰相身投——平家物語』による『や・干手』、『曽根崎心中』、麻実れいの語り芝居『女院出家』、真野響子・二人芝居『夢十夜』、『言魂——石牟礼道子・多田富雄深き魂の交歓』の音楽など多数。

佐藤岳晶 パリ国立高等音楽院エクリチュール(作曲理論)科修了。近世邦楽研究において、東京藝術大学大学院修了(博士(学術))。地歌等曲を二代米川文子(人間国宝)師、長唄・荻江節を今藤尚之師に師事。音楽作品から演劇・舞踊のための音楽まで、西洋音楽、近世邦楽を横断する作曲・演奏活動を行う。

笠井賢一 1949年生まれ。能・狂言のプロデューサー。また劇作・演出家として古典と現代をつなぐ演劇活動を、能・狂言役者や歌舞伎役者、現代劇の役者と、邦楽・洋楽の演奏家たちと続ける。作品は『古事記』から『源氏物語』『平家物語』、近世の近松門左衛門、また近世の夏目漱石、樋口葉、泉鏡花、宮澤賢治、そして新能まで幅広く演出する。

2026年

5/17(日) 15時(30分前開場)

4,000円(全席座椅子付・自由席)

〇 鍊仙会能楽研修所

T107・0062 東京都港区南青山4-21-29  
TEL03・3401・2285

【交通】銀座線・千代田線・半蔵門線  
表参道駅 A4出口より徒歩3分

〇 お申し込み アトリエ花習

TEL090・9676・3798  
メール mail@atelierkashu.com

